<再評価>

事業名 (箇所名)	広域河川改修事業(岡川)	担当課 担当課長名	河川整備課 森野 克也	事業 主体	徳島県					
実施箇所	阿南市宝田町～下大野町									
該当基準	再評価実施後一定期間(5年間)が経過している事業									
事業諸元	全体計画延長L=3,400m 築堤 87,114m ³ 、掘削 178,700m ³ 、護岸 5,200m、樋門 10基、道路橋 4橋									
事業期間	昭和46年度～令和21年度(西暦1971年～2039年)									
総事業費 (億円)	58億円	残事業費 (億円)	24.2億円							
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 過去の浸水実績 ①被災頻度:S40(台風23,24号)、S46(台風23・25・26号)、S47(台風6・7・9・20号)、H11(6月豪雨)、H16(台風23号)、H26(台風11・12号)、H28(台風16号) ②最大浸水戸数:1,799戸(S40年台風23号、24号) ③最大浸水面積:613ha(S40年台風23号、24号)</p> <p><達成すべき目標> ・過去に発生した洪水、河川規模、流域資産、県内他河川とのバランスを考慮し、河川整備計画目標規模の洪水(年超過確率1/30)を安全に流下させる。</p>									
便益の主な根拠	浸水軽減戸数:601戸 浸水軽減面積:139ha									
事業全体の投資効率性	基準年度		令和6年度							
	B:総便益(億円)	233.6	C:総費用(億円)	99.2	B/C	2.4	B-C	134.4	EIRR(%)	6.1
残事業の投資効率性	B:総便益(億円)	210.3	C:総費用(億円)	17.7	B/C	11.9				
感度分析			残事業(B/C)	全体事業(B/C)						
	残事業費(+10%~-10%)	10.9	~	13.1	2.3	~	2.4			
	残工期(+10%~-10%)	11.5	~	12.4	2.2	~	2.8			
資産(+10%~-10%)	13.1	~	10.7	2.6	~	2.1				
事業の効果等	<p>・河川整備計画目標規模の洪水に対して、浸水家屋601戸解消され、氾濫面積139haが軽減される。 また事業実施前には災害時要援護者が559人、最大孤立者数が1,496人、電力停止による影響人口が87人と想定されるが、事業実施によりこれらが軽減される。 ・想定される最大クラスの降雨による浸水想定をR6年5月に作成・公表した。これにより住民の水害リスクに関する意識の向上を図った。</p>									
社会経済情勢等の変化	<p>・地域の事業に対する社会的評価:地元の改修に対する要望は強い。 ・徳島南部自動車道 阿南IC～立江櫛淵ICが令和7年度に開通予定である。</p>									
事業の進捗状況	・昭和46年度より事業に着手し、令和5年度末で進捗率は58%(事業費ベース)である。									
事業の進捗の見込み	・市と緊密に連携した情報共有や用地買収等に関する協力体制を整えることで、事業を推進する。									
コスト縮減や代替案立案等の可能性	・施工段階では掘削土等の有効活用することで、コスト縮減を図る。									
対応方針	継続									
対応方針理由	・現段階においても、事業の必要性は変わっておらず引き続き事業を継続することが妥当と考える。									
その他										